科目ナンバリング	U-LAS25 10003 SJ48						
授業科目名<英訳>	イタリア語ＩＢ（文法） I1102 Italian IB			担当者所属職名・氏名	非常勤講師 河合　成雄		
群	外国語科目群	分野(分類)		使用言語	日本語		
旧群	C群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	演習（外国語）（対面授業科目）
開講年度・開講期	2026・後期	曜時限	火5	配当学年	全回生	対象学生	全学向

[授業の概要・目的]

この授業は、大きく二つのことを目指しています。一つはイタリア語の初等文法を習得することによって、簡単なイタリア語の理解ができるようになることです。それは辞書を引きさえすればある程度の文章も読めるようになることでもあります。もう一つは、会話力を身に着けることです。イタリア語は日本人にとって大変聞き取りやすい言語であるというメリットがあります。簡単な文で自己表現をして、旅行程度では会話に困らない力をつけるようになります。

[到達目標]

イタリア語の基礎的な文法知識を習得し、平易な文章ならば辞書を用いて「正確に」読解できるようになります。またイタリアを旅行する際に困らない程度のコミュニケーション能力を身につけます。

[授業計画と内容]

おおよそ以下のようなスケジュールで進みます。
状況に応じて、順序を入れ替えることがありますが、その場合は授業やLMSで指示をします

第1回～第14回　以下の文法事項について、1，2週ずつで学びます。
近過去（助動詞avere/essereの使い分け, 過去分詞）
再帰動詞・代名動詞
半過去形
命令法
未来形
条件法

以下、時間が許せば、
ciとneの主な用法
siの用法
最後に、将来の自学自習のため、接続法など少し難しい文法についても手ほどきをします。

≪期末テスト≫
第15回　フィードバック

[履修要件]

「全学共通科目履修の手引き」を参照してください。

イタリア語ＩＢ（文法） I1102(2)へ続く↓↓↓

イタリア語ＩＢ（文法） I1102(2)

[成績評価の方法・観点]

期末試験の成績(80%)に平常点評価(20%)を加味して評価を行う。
平常点についての説明は、初回授業で行います。

[教科書]

『パッソ・ア・パッソ』（上記以外のテキストについては、教室で配布します。）

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

毎回必ず予習をしてください。
また、動詞の活用などについて小テストも適宜実施します。

[その他（オフィスアワー等）]

授業の前後に受け付けます。あるいは、質問が多い場合には、適宜Zoomを使用しての相談を、予約制により、個別に受け付けます。

[主要授業科目（学部・学科名）]